

ねんど じぎょうけいかく
2024年度 事業計画
しゃかいふくしほうじん かい
社会福祉法人 かたるべ会

はじめに

＜仕事＞（基本理念抜粋）

- * 全員「社会的労働」に向け活動します。
- * 仕事は社会人としての義務です。積極的に仕事に参加します。（やれることはやる）
- * 適材適所の「社会的労働」を追求します。
- * 障碍の種別や程度を問わず「社会的労働」を追求します。

かたるべ会は開所以来33年間、一貫して社会的労働を追求してきました。就労に力をいれ、少しでも社会の役に立つ仕事を追求してきました。そして、ある一定程度の成果を上げてきました。しかし、就労できる方たちは、ある程度力のある方たちであり、個性の強い方たちは、就労に結びつかない状況です。そこで、かたるべ会は職域開拓に目を向け、力を入れてきました。そして、演劇、音楽、美術、YouTuber など、様々な職域を開拓してきました。また、その基本は「厳しく働く」のではなく「楽しく働く」ことです。楽しく働くことで、生産性は上がり、病気にもなりにくい状態となります。私生活に関しても同様、生活をこなしていくのではなく、「楽しく生活する」ことが重要であると考えます。さらに、ストレスを軽減するためにも業務の効率化が重要となります。

2024年度、かたるべ会の主要テーマは「楽しくなければかたるべ会じゃない」「楽しく働き」「楽しく生活する」です。依然として治まらないコロナウイルスの感染対策はしっかり行いながら、「楽しいと思えることは、とにかくやってみる」を合言葉に、楽しい職域開拓、楽しい生活の開拓を徹底的に実施してゆきたいと思えます。

2024年度事業計画のポイント

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1) 楽しく働く

- ① 本人が求める「楽しい社会的労働」を見極め、実現に向けて活動する
- ② 工賃にこだわらず、楽しいと思えることはやってみる

(2) 楽しく生活する

本人が求める「楽しい生活」の実現に向け活動する

(3) 業務の効率化

事務局、日中活動事業所、グループホームなどの業務が、効率的に、ミスな

くスムーズに^{すいこう}遂行できる^{かいぜん}よう改善する

2、生きづらさ^{かべ}（壁）に対するサポートの強化^{きょうか}

- (1) 個別支援^{こべつしえんめんだん}面談^いで「生きづらさ^{かべ}（壁）」を^{あき}明らかにする
- (2) 個別支援^{こべつしえんけいかく}計画^いで「生きづらさ^{かべ}（壁）」に対するサポートを^{きょうか}強化する

3、信頼^{しんらいかんけい}関係^{そうごりかい}（相互理解）の持てる^も社会^{しゃかい}に向けた^む取り組み^{とく}

- (1) 関係^{かんけい}機関^{きかん}をはじめ、様々^{さまざま}な機関^{きかん}や人^{ひと}との信頼^{しんらいかんけい}関係^{そうごりかい}（相互理解）を^{ふか}深める
- (2) 「楽しく、生き生きと暮らせる^{かんきょう}環境」を^{もさく}模索し^き切り開く^{ひら}

4、健康^{けんこう}に関する^{かん}取組^{とりくみ}

- (1) 健康^{けんこう}的^{てき}な食^{しょく}事^じ
- (2) 健康^{けんこう}的^{てき}な運^{うん}動^{どう}
- (3) 心^{こころ}の安^{あん}定^{てい}に関する^{かん}取組^{とりくみ}

5、SDGsの^{とりくみ}取組

人間^{にんげん}は地球^{ちきゅう}からの恩^{おん}恵^{けい}を受け、生活^{せい}して^{いかつ}います。

海^{うみ}や大地^{だいち}、森林^{しんりん}や空^{くう}気^き、水^{みず}などの恩^{おん}恵^{けい}を受け生活^{せい}して^{いかつ}います。しかし、

温暖^{おんだん}化^か、海洋^{かいよう}汚^お染^{せん}、水質^{すいしつ}汚^お染^{せん}、大^{たい}気^き汚^お染^{せん}、森林^{しんりん}破^は壊^{かい}で地球^{ちきゅう}が悲^ひ鳴^{めい}をあげています。




人間^{にんげん}の欲^{よく}望^{ぼう}が地球^{ちきゅう}を壊^{こわ}してしまっているのです。

更^{さら}に、人間^{にんげん}は紛^{ふん}争^{そう}や差^さ別^{べつ}、飢^き餓^がや貧^{ひん}困^{こん}、障^{しょう}が^い者^{しや}差^さ別^{べつ}なども発^{はっ}生^{せい}させています。

このままでは地球^{ちきゅう}の未^み来^{らい}はありませぬ。

SDGsを^{じっ}実^{せん}践^しし、障^{しょう}が^いがある^な無^なしに^か関^かわらず、普^ふ通^{つう}に^く暮^くら^らせる^{しゃ}社^{かい}会^めを^め目^め指^めし^めます。

そして、「誰^{だれ}もが^{たの}楽^いしく、^い生き^い生きと^く暮^くら^らせる^{かん}環^{きやう}境^も」を^も模^さ索^くし、^き切^きり^{ひら}開^{ひら}きます。

	SDGsとは国連 ^{こくれん} サミットで採 ^{さい} 択 ^{たく} された ^じ 持 ^じ 続 ^{ぞく} 可 ^{かの} 能 ^{のう} な 17 の開 ^{かい} 発 ^{はつ} 目 ^{もく} 標 ^{ひょう}
	(1) 貧 ^{ひん} 困 ^{こん} をなくそう ① 食 ^{しょく} 材 ^{ざい} を大 ^{たい} 切 ^{せつ} に ^{つか} 使 ^{つか} う ② フェア ^{しょう} ト ^{ひん} レ ^{こう} ード ^い 商 ^{こう} 品 ^{せい} （公 ^{こう} 平 ^{せい} ・公 ^{こう} 正 ^{せい} 貿 ^{ぼう} 易 ^{えき} ）を ^{こう} 購 ^{こう} 入 ^い 、 ^し 知 ^し る
	(2) 飢 ^き 餓 ^が を ^お ぜ ^お ろ ^ん に ^{かん} （温 ^{おん} 暖 ^{だん} 化 ^か 、干 ^{かん} ば ^つ つ…） ① 節 ^{せつ} 水 ^{すい} 、節 ^{せつ} 電 ^{でん} 、リ ^{ばん} サ ^{べつ} イ ^{さく} クル、ご ^ご み ^ご の ^{べつ} 分 ^{べつ} 別 ^{べつ} と ^{さく} 削 ^{げん} 減 ^{げん}

 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>(3)すべての人に健康と福祉を</p> <p>① かたるべ会で働く</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>(4)質の高い教育をみんなに</p> <p>① 環境や福祉イベントなどに参加する</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>(5)ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>① 家事を平等に分担する</p>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>(6)安全な水とトイレを世界中に</p> <p>① 水道の蛇口をこまめに止める</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>(7)エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> <p>① 節電する</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>(8)働きがいも経済成長も</p> <p>① 地元の商店から地元産のものをかう</p>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>(9)産業と技術革新の基盤をつくろう</p>
 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>(10)人や国の不平等をなくそう</p> <p>① いじめや差別をしない、させない</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>(11)住み続けられるまちづくりを</p> <p>① 地域交流する</p>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>(12)つくる責任 つかう責任</p> <p>① 賞味期限が短いものから購入する</p> <p>② 食べ残しをしない、余り食材を活用する</p>
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>(13)気候変動に具体的な対策を</p> <p>① リサイクル、ごみの分別と削減、ペーパーレス化</p> <p>② バイオマスゴミ袋などを使用する</p> <p>③ 出来るだけ公共交通機関を利用(排気ガス削減)</p>

 <p>14 海の豊かさを 守ろう</p>	<p>(14)海の豊かさを守ろう</p> <ol style="list-style-type: none"> ① マイバック、マイはし、マイボトルを使う ② レジ袋やプラスチック製品を使わない
 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>	<p>(15)陸の豊かさも守ろう</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 毛皮や牙などを使った製品を買わない ② 飼えなくなったペットを野山に捨てない ③ 食肉、乳製品の購入を控える(買わない)
 <p>16 平和と公正を すべての人に</p>	<p>(16)平和と公正をすべての人に</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国際紛争や平和に関する記事を読む ② 被爆地や被災地を訪問する
 <p>17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p>	<p>(17)パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ol style="list-style-type: none"> ① SDGsに関連する情報を SNS などで拡散する
<p>かたるべ会 の行動</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 誰もがわかりやすい表現を使う ② UD フォントなど見やすく大きめな文字を使う ③ カルチャーチェンジ指針の実践 ④ 信頼関係の持てる環境を実現する ⑤ 誰もが普通に暮らせる社会を実現する

2024年度 第1かたるべ社事業計画(案)

【目的】

日中活動を通じて充実した日々を送るとともに、一人ひとりが違いを認め合い、生きがいの持てる人生に向けた支援をする。

【事業内容】

生活介護事業 20名

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1)楽しく働く

- ・ 企業からの受注作業(梱包、封入、シール貼り、ポストイング等)
- ・ 行政からの委託業務(公園清掃、歩道清掃)

- ・ 学校からの委託業務(プール清掃等)
- ・ 鴨居自治会の回覧セッティング作業
- ・ 自主製品製作(レジン、プラスチック粘土アロマ石鹸等)
- ・ 販売活動(地域のお祭り等)
- ・ 形に捉われずに様々な活動を行う
- ・ 活動の様子を YOUTUBE で配信する

(2) 楽しく生活する

- ・ 本人の楽しみを見つけて行動する
- ・ 本人が行きたいところに行ってみる

(3) 業務の効率化

- ・ アイデアを出し合って実行する

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- ・ 個別支援面談に力を入れて生きづらさ(壁)を明らかにする
- ・ 個別支援計画で生きづらさ(壁)に対するサポートを強化する

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ・ 積極的に地域に出て地域の方々と顔の見える関係を深めていく
- ・ 販売活動、自治会活動、美化活動を通して地域の方々と信頼関係(相互理解)を深める

4、健康に関する取り組み

- ・ ウォーキングやダンス等の運動を取り入れる
- ・ 栄養のバランスが極端に偏らないようにする
- ・ 心の安定に向けてコミュニケーションを深める

5、SDGs の取組

- ・ ゴミの分別、バイオマスのゴミ袋を使用
- ・ マイ箸、マイバック、マイボトルを使用
- ・ フードドライブに食材を提供する

6、「日程表」

9:00 ラジオ体操

9:05 朝礼

10:30 10分休憩

12:00 昼食

13:00 作業開始
15:00 20分休憩
16:15 作業終了・清掃
16:30 終礼
17:00 解散

2024年度 第2かたるべ社事業計画(案)

【目的】

一人ひとりの強みを活かし、充実した社会的労働の追求と関係機関との信頼関係(相互理解)を深める。また、生きづらさに注目し、心の安定と楽しく生きがいの持てる人生となるように支援する。

【事業内容】

生活介護事業 25名
就労継続支援B型事業 12名

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1)楽しく働く

- ・受注、清掃、販売の活動をバランスよく取り組み、より本人のニーズに近い活動を模索していく
- ・活動に対して、楽しく取り組む 取り組みたいと思う気持ちになれるような労働環境を模索し、支援を考えていく

(2)楽しく生活する

- ・ワークライフバランスを意識し、仕事だけではなく余暇やヘルパーなどの情報提供事業所内で取り組める余暇活動(忘年会や社員旅行など)を行っていく

(3)業務の効率化

- ・各活動内容に対して中心となる職員が進捗状況の把握をする事で業務をスムーズに遂行しやすくする
- ・出来る限り各職員の業務を明確化して、一つ一つの業務に集中して取り組める労働環境を目指していく
- ・時間を効率的に使って業務を行えるように、各職員が意識して予定の設定を行う

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- ・個別支援面談でご本人やご家族の抱える「生きづらさ」を確認し必要な支援を

あき
明らかにする

- ・ご本人を取り巻く状況を理解し、楽しく生き生きと暮らせる環境を模索、提案していく

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ・第2かたるべ社で取り組んでいる社会的労働を通じ、地域を含む様々な人や機関と信頼関係(相互理解)を深めていく
- ・取引先との相互理解が深まる活動を継続していく
- ・地域にあるプロレス団体(大日本プロレス)と一緒にコロナ禍でも行う事ができる活動を模索する
- ・YouTube や Instagram を活用し、活動内容や取り組みを発信する

4、健康に関する取り組み

- ・健康的な食事
健康を意識した食事内容の提案を行う
- ・健康的な運動
ウォーキングなど運動を意識した取り組みや支援を行う
- ・外での清掃活動に積極的に取り組む
- ・心の安定に関する取り組み
心身の健康維持に必要と思われる取り組みを積極的に実行する
- ・各々の環境や状況の違いに配慮し、必要なサポートに取り組む

5、SDGs の取り組み

- ・マイボトルやマイバック、マイ箸など使用の推奨
- ・外部活動で可能な限り「バイオマスゴミ袋」を使用
- ・社員職員ともに「節電・節水」を意識した取り組み

6、日程

- 9:00 作業・活動
- 10:30 休憩
- 10:40 作業・活動
- 12:00 昼食
- 13:00 作業
- 15:00 休憩
- 15:20 作業・活動
- 16:30 掃除

16:50 ミーティング

17:00 解散

※活動時間・内容は状況により変更あり

2024年度 第3かたるべ社(居場所作り支援)事業計画(案)

【目的】

引きこもりがちの方、社会との接点が少ない方、一般的な福祉の環境に抵抗がある方など個々の状況に応じて対応を行うことで、それぞれの居場所ができること。

【事業内容】

就労継続支援B型事業 20名

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1)楽しく働く

- ・ 本人が求める「楽しい社会的労働」の実現に向けて、社員と職員は日々の活動やコミュニケーションを通じて、一緒に楽しみや感動を共有する
- ・ 日々の関わりから生まれる本人の好奇心や探求心から楽しいと思えることに繋げていく

(2)楽しく生活する

- ・ 楽しく働くことと本人が求める「楽しい生活」が連動するために、ご家族や関係者も一緒に楽しめる仕組みを模索する

(3)業務の効率化

- ・ 業務報告・連絡に関することは、その都度、LINE ワークスやグリッティで共有する
- ・ 職員ミーティングにて事例を検討し、各自の役割を考える
- ・ 業務担当者が不在でも問題がないようなマニュアルを作る

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- ・ 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにし本人、ご家族、職員で必要な支援を考えて話し合い実践する
- ・ 個別支援会議、個別支援面談を深め、本人の気持ちに寄り添った支援を行う
- ・ 引きこもり、暴力、お金に対する拘り、精神的不安定、行動制限等の生きづらさがある人を中心に関係者で集まり、その方に合った「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索する

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- 一般家庭からの不用品回収や近隣企業からの受注仕事を通じて、地域との信頼関係(相互理解)を深める
- 美化活動(庭の草むしり)や地域清掃を通じて、地域で暮らされている方との信頼関係(相互理解)を深める
- 関係機関と連携し地域で居場所がない方の実習や新規受け入れ態勢を作る
- 様々な機関や支援者と連携し「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

4、健康に関する取組

- 健康面を意識したバランスの取れた食事を提案する
- 一人暮らしの方に健康面と衛生面の支援
- 活動にスポーツ活動や川治いの散歩を取り入れ、心の安定を図る

5、SDGsの取組

- ご家庭で不要になった衣類や雑貨を回収し、リサイクル品として販売する
- 古紙からリサイクル品販売用の値札やメッセージカードを作る
- マイ箸、マイボトル、エコバックを使用する
- ゴミを正しく分別する
- ゴミ袋にバイオマスポリ袋を使用する

6、「日程表」

10:00	活動
12:00	昼食
13:00	掃除
13:30	活動
15:00	休憩
15:20	活動
16:30	掃除
16:50	ミーティング
17:00	解散

ねんど じぎょうけいかく あん
2024年度ジャスミン事業計画(案)

もくてき
【目的】

社員とご家族が深くコミュニケーションをとり、否定せず、社員とご家族の生きづらさを理解し支援する。また、新しいチャレンジにより、一般社会と障がい者の相互理解を深めていく。

じぎょうないよう
【事業内容】

せいかつ かいご じぎょう めい
生活介護事業 10名
しゅうろう けいぞく しえん がたじぎょう めい
就労継続支援B型事業 26名

かつどうないよう
【活動内容】

たの はたら
1、楽しく働く

たの かい
(1)楽しくなければ、かたるべ会じゃない

- ひとり ひとり はなし き ほんにん たの しごと なか ほんえい
①一人ずつのお話を聞く ご本人の楽しいことを仕事の中に反映する
- ひとり やくわり みと たっせいかん かん
②一人ずつの役割を認めて、達成感を感じてもらう
- あたら あたら じぶん はっけん たの かん
③新しいことにチャレンジし、新しい自分の発見により、楽しさを感じてもらう
- えんげき ひとり とくちょう い きげき つく
④演劇…一人ずつの特徴を活かした喜劇を作る

たの せいかつ
(2)楽しく生活する

- はなさ たびじ かつどうばしょ ないよう しゃいん いけん き
①花咲く旅路クラブ …活動場所、内容などはすべて社員さんの意見を聞き、
たすうけつ
多数決

- えんそうかつどう じょうず へたかんけい ぜんいん おんがく たの
②ウクレレ演奏活動 …上手下手関係なく全員が音楽を楽しむ

ぎょうむ こうりつか
(3)業務の効率化

- じむじかん き
①事務時間を決める
- みな いけん き
②皆さんの意見を聞く
- ③やってみる
- ふ か かいぜん
④振り替りして改善していく

い かべ たい きょうか
2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- ①コミュニケーションによりご本人とご家族と信頼関係を作り、個別支援計画
た
立てて、この生きづらさを支援する
- とくべつじじょう かぞくたんとうしゃ しせつちょう つく しえん
②特別事情があるご家族担当者と施設長をチームを作って支援する

しんらいかんけい そうごりかい も しゃかい む と く
3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ①販売活動や地域の清掃を通して地域との相互理解を深める
- ②演劇を youtube に投稿し障害者のことを社会に発信する
- ③大豆肉まんの体験を再開し、一般の市民との相互理解を深める

4、健康に関する取り組み

- ①健康的なベジタリアン食とアルカリ水を提供する
- ②健康的な活動、太極拳、瞑想(やり方:呼吸を数える)

5、SDGs の取り組み

- ①古着でバックなどを作る
- ②大豆ミートを使う動物の肉を使わないで地球を守る

6、日程

- 9:00 作業・活動
- 10:30 休憩
- 10:40 作業・活動
- 12:00 昼食
- 13:00 作業
- 15:00 休憩
- 15:20 作業・活動
- 16:30 掃除
- 16:50 ミーティング
- 17:00 解散

※活動時間・内容は状況により変更あり

2024年度 うれしの事業計画(案)

【目的】

個々の状況に応じ、様々な活動を行う中で、心の安定と充実した生活、そして楽しく生きがいの持てる人生となるよう支援する。

【事業内容】

生活介護事業	定員30名
就労継続支援B型事業	定員15名
就労移行支援事業	定員 6名

かつどうないよう
【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1)楽しく働く

- ・一人ひとりが楽しく活動できるよう選択肢を広げ、柔軟に対応する
- ・充実した日々を目指し、新しい活動にも積極的にチャレンジする
- ・活動内容
食品製造、販売活動、作業、SNS活動、就職に向けた活動、外出他

(2)楽しく生活する

- ・日々の活動の中で本人がやりたい、楽しいと感じる活動をする
- ・一人ひとりの状況に合わせて、外出や余暇の活動も積極的に行っていく

(3)業務の効率化

- ・必要な情報はグリッディやLINEワークスを活用して共有する
- ・業務の役割を明確化し、協力体制を意識する

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1)個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

- ・日々の関わりの中で信頼関係を築き、面談で話をしっかり聞く
- ・本人、ご家族、関係者と話をする機会を積極的につくっていく

(2)個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・自己実現ができるような環境、信頼関係を築いて支援を行う

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1)関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

- ・川和町内会と積極的に関わり、信頼関係(相互理解)を深める
- ・地域の学校や事業所(川和小学校、横浜ビー・コルセアーズ等)と連携し、活動を通して信頼関係(相互理解)を深める

4、健康に関する取り組み

(1)健康的な食事

- ・毎日、栄養のバランスのとれた食事の提供
- ・栄養のバランスのとれた食事とお菓子のメニュー開発

(2)健康的な運動

- ・体操や運動、ウォーキングなど体を動かす活動を日々取り入れる

(3)心の安定に関する取り組み

- ・音楽や瞑想などを日々取り入れる

5、SDGsの取組

- ・ ゴミの分別と削減を意識する、バイオマスのゴミ袋の使用
- ・ マイ箸、マイバック、マイボトルを使う
- ・ 地元の東屋豆腐店から積極的に食材を仕入れる(国産大豆使用)
- ・ 食肉、乳製品の購入を減らす(牛乳→豆乳など)
- ・ オムニミートなど代替肉を使用したメニューを取り入れる(ジャスミンと連携)
- ・ ペーパーレス化(お知らせや資料はデータで配布、共有)

6、「日程表」

- 9:00 ミーティング
- 9:20 かたるべ体操
- 9:30 作業開始
- 12:00 昼食
- 13:00 作業開始
- 15:20 瞑想、オープンダイアローグ
- 16:00 解散

2024年度 うれしの児童放課後等デイサービス事業計画(案)

【目的】

学校在学中の児童・生徒に対して、放課後や長期休み中において個々の特性に応じた支援を行い、心豊かに成長や発達を育むお手伝いをすることで、子供とご家族が笑顔になれる場、そして生きがいの持てる人生となるよう支援する

【事業内容】

放課後等デイサービス(障害児通所支援事業)

定員10名/日

登録数19名(予定)

対象者:小学校から高校生までの放課後等デイサービス受給者証所持者

地域:横浜市全域

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1) 楽しく遊ぶ

- ・ 本人が活躍できる活動の提供
- ・ 新しいことに挑戦する

(2) 楽しく生活する

- ・ 充実した活動により円滑な家族関係を自指す

(3) 業務の効率化

- ・ 役割の明確化
- ・ 連携・フォローの意識向上

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

- ・ 本人、家族が安心できるよう個別支援面談を深める
- ・ 家族の今までを否定しない

(2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・ 本人が主体的になれる計画の立案
- ・ 立案した計画の実行と挑戦

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

- ・ 関係機関と情報共有、支援を補い合いながら信頼関係を深める

(2) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・ 失敗経験も笑いあえる未来作り
- ・ 父母会の開催
- ・ 肯定する文化と明るく楽しい計画の立案

4、健康に関する取組

(1) 健康的な食事

- ・ 栄養バランスのとれたおやつ、ランチの提供

(2) 健康的な運動

- ・ 個人のペースに合わせた適度な運動

(3) 心の安定に関する取り組み

- ・ 運動、音楽、アート、料理、外出などの楽しい活動の提供
- ・ 活動後にオープンダイアログを行い落ち着いてから送迎する

5、SDGsの^{とりくみ}取組

- ・ ^{はいき}廃棄するようなごみからでも^{もさく}アートになるよう模索

6、「^{にってい}日程」

- ・ ^{そうげい}送迎(学校または^{じたく}自宅からうれしの)
- ・ ^{こべつ}個別の^{たいわ}対話(連絡帳^{ちえっく}チェック)
- ・ ^{てあら}手洗い、おやつ
- ・ ^{かく}各プログラムに^{わか}分かれて^{かつどう}活動
- ・ ^{かえ}帰りの会(オープン^{かい}ダイアログ)
- ・ ^{そうげい}送迎(うれしのから^{じたく}自宅)
- ・ ^{えいぎょう}営業日時 ^{にちじ}月曜日から^{げつようび}金曜日 ^{きんようび}9:00~17:00

2024年度 ^{ねんど}ひまわり^{こうぼう}工房^{じぎょう}事業^{けいかく}計画^{あん}(案)

【^{もく}目^{てき}的】

^{げいじゆつかつどう}芸術^{ちゆうしん}活動を中心^{さまざま}に、^{かつどう}様々な^{ちようせん}活動に^{ちいき}挑戦^{しゃかい}し、^{そうごり}地域^{かい}社会との^{ふか}相互理解を^{ひと}深め、^{ひとり}一人^{ちが}ひとりが^{みと}違いを^{しゃかい}認め^{じつげん}あえる^{もくてき}社会を実現することを^{もくてき}目的とします。

^{ひょうげん}アートは^{ひょうげん}表現活動です。^{ひとりひとり}一人一人^{ちが}表現は^{ひょうげん}違うし、^{せい}その^{かい}表現に^{せい}正解は^{せい}ありません。
^{じぶん}自分の^{かんじょう}感情や^{おも}思いを^{じゆう}自由に^{ひょうげん}表現して^いいただき^{たい}たい。

そして、^{ちが}その^{みと}違いを^あ認め^{しゃかい}合える^あ社会を^めめざ^しします。

【^{じぎょう}事業^{ないよう}内容】

^{せいかつ}生活^{かい}介護^{じぎょう}事業 ^{てい}定員^{めい}20名

【^{かつどう}活動^{ないよう}内容】

1、^{たの}楽しく^{かい}なければ、^かかたる^{かい}べ会^{かい}じゃない

(1)^{たの}楽しく^{はたら}働く

- ① ^{ほん}本人^{にん}が^{もと}求める「^{たの}楽しい^{しゃか}社会的^{いて}労働^{きろ}」を見^み極^{きわ}め、^{じつげん}実現^むに向けて^{かつどう}活動する
- ② ^{こうちん}工賃^{たの}に^{おも}こだわらず、^{たの}楽しい^{おも}と思えることは^やや^って^みる
- ③ ^{かく}各自^じの^{きぼう}希望^きを^き聞く
- ④ ^とアート^おを通し^{しゃかい}社会^{ひつ}から^{ひつ}必要^{じっ}と^{かん}と^{かん}されて^{かん}いると^{かん}実感^{かん}できる^{かん}ような^{かん}活動^{かん}を^{かん}実施

⑤アート作品さくひんの販売はんばい、レンタルおこなを行う

⑥アート展てんを行うおこな

(2) 楽しく生活たのするせい

① 本人ほんにんが求める「楽しい生活たの」の実現じつげんに向け活動むするかつどう

② 各自かくじの希望きぼうを聞くき

③ 一人一人ひとりひとりが活かされた活動いをするかつどう

④ 一人一人ひとりひとりが満足感まんぞくかんをもって過すごせる活動かつどうを指めすざ

(3) 業務ぎょうむの効率化こうりつ

① 業務ぎょうむが、効率的こうりつてきに、ミスなくスムーズすいこうに遂行かいぜんできるよう改善かいぜんする

② アイディアつのを募むる

③ 実行じっこうしてみる

2、生きづらさい(壁かべ)に対するサポートたいの強化きょうか

(1) 個別支援面談こべつしえんめんだんで「生きづらさい(壁かべ)」を明あらかにするき

(2) 1組1回2時間くみ かい じかんの面談めんだんを実施じっしし、しかり話はなしを聞きく

(3) 個別支援計画こべつしえんけいかくで「生きづらさい(壁かべ)」に対するサポートたいを強化きょうかする

(4) 生きづらさいに対して必要たいな援助ひつよう、環えん境じょうを考かんえて支か援ん計けい画かくをさく成せいし実じ行こうする

3、信しん頼らい関かん係けい(相そう互ご理り解かい)の持もてる社しゃ会かい向むけた取とり組く

(1) 関かん係けい機き関かんをはじめ、様さま々ざまな機き関かんや人ひととの信しん頼らい関かん係けい(相そう互ご理り解かい)を深ふめる

(2) 「楽しく、生き生きと暮くらせる環かん境きょう」を模も索さくし切きり開ひらく

(3) 川かわ和わ町ちやう内ない会かいとの信しん頼らい関かん係けい(相そう互ご理り解かい)を深ふめる

(4) 地ち域いきの方かたと顔かおのみえる関かん係けいを深ふめていく

(5) 関かん係けい機き関かんとの信しん頼らい関かん係けい(相そう互ご理り解かい)を深ふめる

4、健けん康こうにかんする取とり組くみ

(1) 健けん康こう的てきな食しょく事じ

・ 毎まい日にち、栄えい養ようのバらンスのとれた食しょく事じを提てい供きやうする

(2) 健けん康こう的てきな運うん動どう

・ 体たい操そうや屋おく外がいでの活かつ動どうを取とり入いれる

(3) 心こころの安あん定ていにかんする取とり組くみ

・ 瞑めい想そうやオおーおプおンおダイおアおロおグおをお行おう

5、SDGsとの取とり組くみ

・ ゴミごみの分ぶん別べつ(業ぎやう者しゃに確かく認にんし、家か庭ていごみと事じ業ぎやうごみごみの違ちがいりを理り解かいして、取とり組くむ)

・ バイオマスがくろのごみ袋しやう使し用よう

- ・ マイ箸、マイバック、マイボトル
- ・ 廃棄物からのアート制作

6、「日程表」9時～16時

- 9:00 ミーティング
- 9:30 作業開始
- 10:30 休憩
- 12:00 昼食
- 13:00 作業開始
- 15:00 おやつ
- 15:20 瞑想およびオープンダイアログ
- 16:00 解散

2024年度共同生活援助事業計画(案)

【目的】

入居者一人ひとりの意思、自主性を尊重し、入居者の立場にたった質の高い援助と心身の健康保持に努め、生きがいの持てる人生となるよう支援する。
個々の状況に応じ、精神的、経済的自立を支援する。
様々な状況の中でも「障がいがあるなしに関わらず普通に暮らせる社会」「誰もが楽しく、生き生きと暮らせる社会」を切り開く。

【事業内容】

共同生活援助

・各ホーム定員

主たる事業所 ハイスマモル 7ホーム 定員合計41名

グリーンハイスマ6名 アムール6名 ハイスマモル5名

アローズ6名 フレンズ6名 ビット6名 ルークス6名

主たる事業所 セルフィッシュ 7ホーム 定員合計38名

セルフィッシュ6名 ビーンズ6名 フォレスト6名 第2ビーンズ2名

アポロ6名 フラット6名 リーフ6名

しゅ じぎょうしょ 3ホーム 定員合計17名
ジャスパー6名 マモルハウス5名 スカイ6名

じぎょうしょ 3事業所17ホーム 合計96名

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1) 楽しく働く

- ・本人が求める「楽しい社会的労働」を実現するため、生活の場から参画できる環境を整える

(2) 楽しく生活する

- ・一人一人にあった楽しみを模索し、メリハリのついた生活をサポートする

(3) 業務の効率化

- ・各ホームの業務マニュアルを整備し、支援内容をわかりやすくする
- ・業務マニュアルを活用し、効率的にミスなくスムーズに遂行できるようにする

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

- ・社会生活をする上で、障碍となることをあきらかにする

(2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・行動規制やルールではない、自己実現に向けた支援について熟慮する

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取組

(1) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

- ・より細やかな連携を密に取り関係性を深め各種機関との共有を図る

(2) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・地域活動等行われる際は時間や場所、人数等を考慮しながら積極的に社会参加をする

4、健康に関する取り組み

(1) 健康的な食事

- ・栄養バランスのとれた食事をサポートする
- ・職員は定期的に食品衛生責任者講習を受ける

(2) 健康的な運動

- ・余暇の過ごし方を意識する

(3) 心の安定に関する取り組み

- ・個別の相談をしっかりと聞けるように一人ひとりの時間を大切にする
- ・リラックス出来る環境作りを行う

5、SDGS に関する取り組み

- ・節水や節電、リサイクル、ゴミを少なくすることなどホーム内で取り組めることを入居者と一緒に考えていく
- ・マイボトル、マイ箸、エコバックを利用する
- ・ゴミの分別の徹底・ゴミの捨て方に気を付ける(生ごみ、お茶のパック等は水分をよく切ってから捨てるなど)
- ・食材を無駄にしないように購入する・地元産のものや環境に優しい食材を選ぶ
- ・バイオマスゴミ袋を活用する

6、緊急時の対応

- ・入居者の生命、安全を第一に考えた速やかな対応をとれるよう AED、防災、避難訓練を定期的に行う
- ・定期的に防災用品を確認し急時に備える

7、一人暮らしへ移行した人への支援

- ・金銭管理方法、買い物、手続き、食事、健康面、近隣との関係等必要に応じた生活の援助を行う

2024年度 短期入所事業計画(案)

【目的】

個々の状況やご家族の状況に配慮したレスパイトを目的とし、個々に応じてその後の生活基盤の構築も目的とする

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1) 楽しく生活する

- ・利用される方が安心してリラックスできる環境を作る

- ・ 本人が求める「楽しい生活」の実現に向け、気持ちに寄り添いながら過不足のない支援を行う

(2) 業務の効率化

- ・ 業務の引継ぎは具体的に簡潔にまとめる
- ・ 直接支援以外の業務(居室清掃や洗濯)は項目を分けてスケジュール表を作成し、職員同士で補い合える仕組みを作る

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

- ・ 個別面談で各自の「生きづらさ(壁)」を明らかにして、ご本人とご家族の状況に配慮した短期利用を提案し、実践する

(2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・ 所属先の支援計画に記載されている、生きづらさに対する支援を深める
- ・ 利用する方の事業所の個別支援計画を確認する
- ・ 定期的に利用される方に対しては、所属事業所で行われる個別支援会議等に参加させてもらう

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ・ 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める
- ・ 外部の事業所等からの利用も多いので、しっかりと所属先の機関と連携が取れる様にコミュニケーションを図り、信頼関係(相互理解)を深める

4、健康に関する取り組み

- ・ 通所先や家庭と健康状態の情報を共有する
- ・ 状況に応じて服薬支援をする
- ・ 状況に応じて通院支援を行う
- ・ 栄養バランスのとれた食事を提供する

5、SDGsの取り組み

- ・ 食材の検討、食材を無駄にしない
- ・ 買い物の際はエコバックの使用
- ・ 節水、節電の徹底
- ・ リサイクル、ゴミの分別徹底と削減
- ・ バイオマスゴミ袋を使用する

2024年度 相談支援事業計画(案)

【目的】

主体的な生活を支える、サービス利用の調整を図る為、事業所間で支援方針のずれのない計画相談支援を行う。

【対象者】

障害福祉サービスまたは地域相談支援を利用する方々

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1)楽しく働く

- 本人が求める「楽しい社会的労働」の実現に向けて、関係機関の調整や本人の求めるものに合った新しい社会資源を開拓する

(2)楽しく生活する

- 楽しい生活の実現に向け、本人が楽しいと思えることに対して柔軟に対応できるように、計画作成時やモニタリングにおける面談は楽しくなるために必要なことを意識しながら進めていく

(3)業務の効率化

- モニタリングや支援における訪問は年間予定へ具体的(訪問時期や事業所毎の訪問予定等)に落とし込み、それを基に各事業所やグループホームへの日程調整を行う
- 報告、連絡に関しては、その都度、LINE ワークスやグリッディで共有する

2、生きづらさに(壁)に対するサポートの強化

- 個別面談、モニタリングで各自の生きづらさに対する計画を作成して振り返る
- 所属する事業所で作成している支援計画と方向性を揃えて、生きづらさに対する支援計画を深める
- 本人、ご家族、職員がお互いの違いを認め合う事が出来る様な個別支援会議や面談を意識する
- 主体的に楽しく生き生きと暮らせる様に本人の希望を掘り下げていく

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

- ・信頼関係を深めるために自立支援協議会など様々な事業所と出会える場に参加し積極的に意見交換を行う
- ・「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開くために、地域の社会資源をあらためて確認し必要なものを支援に取り入れていく

4、健康に関する取り組み

- ・所属事業所やご家庭と健康状態の情報を共有する
- ・福祉機関につながっていない人や一人暮らしで利用する人などは、日頃の健康状態に留意して、必要によっては通院付き添い等を行う

5、SDGsの取り組み

- ・事務に係る消耗品類の無駄をなくしていく
- ・リサイクル、ゴミの分別徹底と削減
- ・面談などで移動の際は公共交通機関を利用する
- ・節水、節電の徹底

2024年度 就労支援事業計画(案)

【目的】

一人ひとりが社会人として、違いを認め合い、個々の状況に応じて、就労することを通し、楽しく生きがいの持てる人生に繋げていく。

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

(1) 楽しく働く

- ・本人の希望、意思、強味に注目して、ジョブマッチングを考えた就労支援をする
- ・楽しく生きがいの持てる労働環境となるように、必要に応じ就労先にアプローチする

- ・状況に応じて、職場見学、体験実習、面接等に向けて取り組む

(2) 楽しく生活する

- ・本人の状況に応じて、柔軟に転職支援・生活支援をする
- ・就労者やご家族へ、かたるべ会のイベントや余暇等の情報を伝える

(3) 業務の効率化

- ・就労者のリストと担当者を明確にし、情報共有が出来る仕組みを作る
- ・就労期間が長くなると、本人を知る人が少なくなっていくため、

クラウド内で就労者状況を共有し法人内にも周知する

2、生きづらさ(壁)に対するサポート

- ・ 訪問、電話、メール等での連絡をし、必要に応じ調整する

3、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取組

* 就労先との関わり

- ・ 職場訪問や連絡調整を行う
- ・ かたるべ会の行事(入社式、交流会等)の案内をし、定期的に連絡をする

4、健康に関する取組

個々の状況に応じて対応する

2024年度 相互理解事業計画(案)

【目的】

カルチャーチェンジ指針を通して、一人ひとりの違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、誰もが楽しく生き生きとしている社会を実現する。

【活動内容】

1、楽しくなければ、かたるべ会じゃない

- ・ ナチュラルファースト(かたるべ会の内部の当事者団体)が各事業所の枠を超えて楽しく活発に活動できるよう支援する
- ・ 当事者の皆さんが社会に向けて思いを発信できるよう支援する(ユーチューブなども活用する)
- ・ ピープルファーストの集まりに積極的に参加できるよう支援する

○ピープルファースト

1973年にアメリカで始まった知的障害者の当事者団体で各国に広がっている。

「障害者である前に人間である」という思いから、様々な活動を行っている。

日本では毎年全国大会が開催されている。

2024年度 交流事業計画(案)

【目的】

カルチャーチェンジ指針を通して、一人ひとりの違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、誰もが楽しく生き生きとしている社会を実現する。

【活動内容】

1、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ・「楽しく働き」「楽しく生活する」を実施し、伝える
- ・カルチャーチェンジ指針を通して、認め合い、肯定する文化を伝える
- ・かたるべ会主催の交流会を年2～3回開催し、外部との相互理解を促進する
- ・演劇、講演、音楽等、対面とオンラインを活用し、地域や社会との交流を深める
- ・バンジョークラブの活動
日中活動の中でバンジョークラブの活動をする
事業所の枠を越えて活動し、音楽イベントにも参加し、音楽活動を通して交流を深めていく
- ・てつなぎつづき、神奈川県知的障害施設団体連合会に関わり、他法人との連携をしていき、交流を深めていく

○カルチャーチェンジ指針～否定される文化から、肯定する文化へ～

- (1)強みに注目し、弱みに注目しない
- (2)違いを認め合う(スキル、価値観、宗教…)
- (3)遊び心を取り入れ、楽しく、生き生きと
- (4)円滑なコミュニケーション(否定せず、肯定しあう)
- (5)挑戦！発見！新しい自分、そして社会！

2024年度 職員研修事業計画(案)

【目的】

職員一人ひとりの支援の質を向上させ、基本理念実現に向けて、社会に貢献できる人材の育成。また、職員同士のコミュニケーションを深めることで、違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、一人ひとりが必要とされている職場を実現していく。

【活動内容】

1、「支援」の充実に向けた取り組み

*新人職員対象

- ・採用後1ヶ月、新人職員研修で下記項目を実施する

【座学】

基本理念、支援に当たっての留意事項、カルチャーチェンジ指針、愛に気付くコミュニケーション、内観、オープンダイアログ

しょうがいしゃぎゃくたいぼうしほう さべつかいしょうほう
障害者虐待防止法、差別解消法

ほうじんきやく きてい ほうじん
法人規約・規定、法人ガイドライン、リスクマネジメント

きかくていあんせいど ふくやくかんり ゆくえふめいじたいおう さいがいじこうどう
(企画提案制度、服薬管理マニュアル、行方不明時対応、災害時行動)

GRIDY・どこキャビ、スカイプ・LINE・Zoom の使い方

しょうがい きそちしき ふくししきく
障害の基礎知識、福祉施策

たいけん
[体験]

にっちゅう かくじぎょうしょ ほうもん
日中、グループホームの各事業所を訪問する

こんしん ふか わかてしよくいん ひがえ じっし
懇親を深めるため、若手職員との日帰りツアーを実施する

・ 外部研修

しよにんしゃけんしゅう しょうがいしゃしえん しゅさい いつかかん きそこうざ
初任者研修(障害者支援センター主催 5日間)、てんかん基礎講座

さいようごずいじ あんぜんうんてんこうしゅう にっちゅうかつどうしよくいんたいしゅう かくじぎょうしょ たいおう
・ 採用後随時、安全運転講習(日中活動職員対象、各事業所が対応)

こべつ じっし あんぜんうんてん いしき じっしかいすう こじん じょうきょう
個別に実施し、安全運転を意識していく、実施回数は個人の状況による

ぜんしよくいんたいしゅう
*全職員対象

・ 職員全体研修(年2回)、各事業所(随時)

ほうじんきほんりねん にんしき しょうがいしゃ しごと せいかつ よか しえん うえ
法人基本理念の認識、障害者への仕事・生活・余暇の支援をしていく上で、

ちが みと あ そうごりかい ふか しんらいかんけい きず しえん しつ たか
違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、支援の質を高める

ひとり たいせつ ひと ひつよう じっかん けんしゅう おこな
一人ひとりが大切な人たちであり、必要とされていると実感できる研修を行う

・ 救命講習(各事業所、各エリアで実施)

せいじん たい しんぱいそせいせい しょうほうほう しゅたい こうしゅう
成人に対する心肺蘇生とAEDの使用方法を主体とした講習

2024年度 健康管理事業計画(案)

【目的】

しゃいん にゅうきよしゃ しょくいん と しょうたい せいしん じゅうじつ せいかつ おく
社員・入居者・職員を問わず、いつまでも身体・精神ともに充実した生活を送れるよ
うに健康面から様々なサポートを行う。

【活動内容】

1、健康診断

しゃいん だい だい しゃ こうぼう ねん かい
・ 社員 (第1、第2、第3かたるベ社 ・ジャスミン・うれしの・ひまわり工房)・・・年2回

にゅうきよしゃ ねん かい かくしよくば たいおう
・ GH入居者 … 年1回 (各職場で対応)

しょくいん にっちゅうかつどう そうだんしえんしょくいん ねん かい
・ 職員 日中活動・相談支援職員 … 年1回

しょくいん たんきにゅうしよ ねん かい ろうどうあんぜんえいせいきそく
・ 職員 GH・短期入所 … 年2回 (労働安全衛生規則による)

・ GHアルバイト・ドライバー職員 (本人と相談の上実施する)

・ 40歳以上の社員・職員 … 人間ドック

(以後5年ごとに1度 人間ドックを受診する)

・ 40歳以上の女性社員・職員 … 婦人科健診 (非常勤職員は週4日以上勤務)

かつかたるべ会を主体として勤務されている方)

※協力医療機関 サイクリニック:東京中央クリニック:神奈川予防医学協会

・アフターフォローについて

健診の結果を受け 再検査の案内および実施確認

社員・入居者・ご家族・職員間で協力してアフターフォローに当たる

2、感染予防・衛生管理

・感染予防業務継続計画に従い、衛生管理を徹底する

・リーバーによる出勤前と午後の検温を実施

・来客者の管理、訪問先での感染予防策実施

・インフルエンザ予防接種の実施(職員・社員)

・インフルエンザ・ノロウイルス等の流行については、状況に応じて対応していく

(感染拡大を防ぐため、事業所間の連携を強化する)

・衛生管理の徹底 … 手洗い、うがいの励行、常時マスクの着用、アルコール手指

消毒

・各事業所における感染拡大防止のための情報収集及び準備、対応

・衛生管理に関する職員研修

日中活動 … 必要に応じ 食品管理衛生責任者講習 受講

必要に応じ 食品に関する研修参加(食品表示法等)

GH … 食品管理衛生責任者講習 受講

内部研修「衛生管理について」(事務局会議にて実施)

・コロナウイルスの感染防止対策を継続する

コロナワクチン予防接種の検討 (職員・社員・その他)

抗原検査の適宜実施、実習生への来訪事前検査実施

来訪者の管理、訪問先への感染予防策実施

食事時の会話を控え 食事後にマスクを交換・清潔を保つ

空気の流れを考えた定期的換気の実施

・法人内及び家庭内でのコロナウイルス感染予防を業務継続計画に従い実施する

療養期間 ・ 在宅期間を設けた 感染拡大防止

濃厚接触者及び体調不良者の 抗原検査 実施

入居者の感染者発生の場合 所属グループホームでの療養を基本とする

必要に応じ 短期入所などを療養施設として活用する

3、生活習慣病予防等に関する相談

・肥満・高血圧等 生活習慣病予防に関する取組を行う

・肥満対策について 運動面・食事面サポート・関係機関との連携を行う

- ・ 看護師による心身(ストレスなど)の健康に関する相談実施
- ・ 井泉先生(嘱託医)星野先生(嘱託医)による健康相談 カウンセリング実施

4、健康に関する取組 各事業所との連携を図る

- ・ 健康的な食事（昼食の献立等 栄養面を考える）
- ・ 健康的な運動（ウォーキング・体操などの習慣化）
- ・ 在宅における健康推進の提案

2024年度 防火防災事業計画(案)

【目的】

災害は予知することができません。そのため様々な災害を想定した日々の備えと防火・防災のための訓練が大切です。社員・入居者及び職員の生命と身体の保全を図るため、感染対策を徹底しながら防火・防災活動に取り組んでいきます。

【活動内容】

1、業務継続計画にのっとり 防災・避難訓練の実施

◎社員・入居者・職員の災害時行動を明確にする

○防火・防災訓練・・・年2回実施(各事業所ごと)

※図上訓練も併用する

- ・ 1回目・・・地震時の防災避難と避難場所への経路確認・消火器使用訓練
- ・ 2回目・・・火災通報訓練・消火器使用訓練

○GH合同防災避難訓練・・・年1回実施(GH)

- ・ 地震を想定した避難訓練・避難場所への経路確認

○浸水害避難訓練・・・年1回実施(該当事業所ごと)

※図上訓練も併用する

- ・ 浸水害を想定した屋内避難訓練・避難場所への経路確認

○地域防災拠点での防災訓練等への参加・・・随時

2、防火・防災設備の点検及び備蓄品の管理

○日中活動施設(各事業所)

- ・ 法人自主点検・・・年2回実施
- ・ 消防署の立ち入り検査・・・要請に応じ随時
- ・ 消防設備法定点検・・・年2回実施 (各所轄消防署に年1回提出)
- ・ ジャスミン・・・工藤建設による消防設備点検実施 年2回実施

○GH(各事業所)

- ・ 法人自主点検…年2回実施
- ・ 消防署の立ち入り検査…要請に応じ随時
- ・ 消防設備法定点検…年2回実施（各所轄消防署に年1回提出）

○日中活動施設・GH共通

- ・ 防災用備蓄品の期限や内容の確認を行い適正な物を常備する
- ・ 災害時の情報収集のためWi-Fi環境や充電用バッテリーを常備する
- ・ 消費期限の近づいた非常食・非常用飲料水は、フードバンクへの寄付をおこなう
など廃棄以外の方法を検討する

3. その他

- 「災害時の対策マニュアル(職員用・ご家族用)」の更新(随時)
- 緊急時の連携と緊急連絡先の確認・更新(随時)
- 防火管理者の設置・消防計画の作成提出(随時)
- 横浜市主催の災害時連絡訓練参加(随時)
- 地域の防火防災活動との連携
- AED使用研修実施(オンライン訓練併用)
- ALSOK・まもるっく・GHみまもりサポートの使用・検索研修実施
- 新設事業所への防犯カメラの設置(随時)